



第12回総会成功裡に終了

11月17日（土） 菊水ホール

総会出席会員83名 懇親会参加者99名

第12回（平成18年度）総会は11月17日（土）午後2時から久米川駅北口の菊水ホールで行われた。

第一部の定時総会では会長挨拶のあと、議事に入り平成18年度活動報告、会計報告・監査報告、平成19年度活動計画、並びに予算案の説明が行われ、承認された。そのあと早稲田大学理事（理工学術院教授）堀越佳治様からご祝辞を頂いた。

第二部では本会会員の作家山崎光夫氏による「若き日の大隈重信と早稲田大学」という演題で記念講演が行われた。

第三部の懇親会では小室府中校友会会長の祝辞および早稲田大学募金局課長の桜井直子さんから125周年募金の期間は来年3月までですので、100%達成に向かってもう一息の協力をお願いしたいとのお話があった。そのあと山下邦康前会長の乾杯で開宴となり、和やかな雰囲気の中で懇談の輪が広がった。柏崎稲門会から頂いた復興祈願酒「越の誉」を味わい、三宅会長のご令嬢で女優の三咲順子さんのサクソ演奏、音楽同好会による東村山稲門会の歌の指導並びに世話人高橋文子さんのご主人のギター演奏、応援部リーダーによるアトラクションを楽しみ、そして最後は勿論全員で肩を組んでの「早稲田の栄光」と校歌「都の西北」の大合唱でお開きとなった。なお、懇親会の中で行われた柏崎稲門会に対する友情募金は8万円近い金額が集まった。ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。（詳細は別掲）

来賓出席者

早稲田大学理事堀越佳治様、募金局課長桜井直子様 立川稲門会①、西東京稲門会①、武蔵野稲門会①、府中校友会①、小平稲門会②、東久留米稲門会②、小金井稲門会②、清瀬稲門会②、狛江稲門会①、国分寺稲門会②



早稲田大学堀越理事



山崎光夫氏の講演



音楽同好会の皆さん



最後はやっぱり「都の西北」





新年会ですぞ！ 大集合！
1月12日(土) 17:00
久米川駅 交番裏 小千谷

○第55回雑学講座

日 時 : 1月12日(土) 15:00～16:30

場 所 : ふるさと歴史館・視聴覚室
 諏訪町1-6-3 TEL 396-3800

講 師 : 東村山市長 渡部 尚氏

演 題 : 「市政への夢」

新年早々、記念すべき第55回の雑学講座には、都内の首長で一番若い、渡部尚東村山市長にご登場いただき、市政にかける熱い思いを語っていただきます。

(当日は、午後5時より新年会が開催されます。午後3時からの雑学講座にも是非ご参加ください。)

○1月度定例役員会

日 時 : 1月12日(土) 13:00～14:30

(ニュースの封入作業があります。)

場 所 : 「ふるさと歴史館・視聴覚室」
 一般会員の方の参加を歓迎します。

○平成20年新年会

日 時 : 1月12日(土) 17:00～19:00

場 所 : 小千谷(おじや) 久米川駅北口 交番裏 TEL 042-394-4030

参加費 : 6千円(飲み放題)

(福引き抽選があります)

申し込み 同封のはがきで出欠の返事を12月末までに返信ください。

○1月度お誕生会(担当 南湖 芦田)

日 時 : 1月12日(土) 新年会のなかで実施

場 所 : 小千谷(上記参照)

*1月度お誕生の方々(敬称 略) 23名

飯塚輝夫・伊藤友己・大曾根文男・大西幸夫・奥山康治・小野 智・菊田 哲・
 木谷 肇・河野憲一・小林俊治・佐久間厚・迫田 実・佐野 祐史・澤村信義・
 高橋鶴次郎・滝澤利久・筒井昌・中山和久・成田豊太・夏山一彦・堀田秀夫・
 三井正司・森澤 要

○井原 徹さん幹事に

役員会から幹事に推薦されていた井原徹(S44・法)さんが11月17日の総会で承認され、あらたに幹事になりました。任期は他の役員同様来年の総会までとなります。今後の活躍が大いに期待されています。

○新入会員紹介

総会の日に入会頂きました。よろしくお付き合いください。

小永井 哲哉(こながい てつや)さん 昭和35教育(国語・国文)

〒189-0023

東村山市美住町1-24-23 電話 042-392-1365

年会費納入のお願い

総会にご欠席で年会費5000円を未納の方には郵便振替払込書を同封してありますので、年内に納入下さいますようお願い致します。

ご参考 郵便振替口座 00160-0-112250 東村山稲門会

みずほ銀行久米川支店 1876557 早稲田大学東村山稲門会



早稲田大学創立 1 2 5 周年記念講演 「若き日の大隈重信と早稲田大学」 —佐賀・長崎時代に大学の源流を見る—

講師 山崎光夫氏

大隈と医学—医学の近代化のためドイツ医学の採用に果たした役割は意外と大きい。大隈の青春時代についても、「大学史資料センター」に通って調べても「江副美登と離婚、綾子と再婚」と簡単に記してある程度で、意外と書かれていない。「新しい発見」のある青春時代に興味が湧いて、書く気になった。

作家は処女作を見れば判かる様に、大隈も佐賀・長崎時代を見れば、その人となりが判る。これを本にしたのが、「青春譜」で、痛快・無比・愉快で馬力の人。大事をなす人物らしく楽天主義で失望したことがない。わくわくするほど底抜けに明るい大器だ。

大隈の父は石火矢頭人（砲術師、400石の上級武士）で、その長男として天保9年に生まれた。幼名は末広がりであり、良いと言うことで八太郎と言う。嘉永元年ペリーが来航、衝撃的出来事だった。藩校・弘道館に学ぶも、四書五経や「葉隠」等、旧弊や古臭いことばかり教えている。これに拘泥せず、打破しなくてはならない、と考えた。弘道館には南寮、北寮があった。大隈は南寮にあって、北寮の旧守学生が南寮に奇襲をかけたが、逆に大隈が北寮を攻撃、演説でやっつける。この喧嘩を上層部が知るところとなり、大隈は首謀者として結果的に退学となる。大隈は13歳で父を亡くすが、母（三井子）は、議論しに家にやってくる江藤新平や副島種臣などに馳走を振舞ったりする剛毅な所のある人。自分の信じる道を選び、「正しいことをやりなさい」と。大隈は「古い弘道館には戻らない」と退学する。そして、蘭学校に入る。当時16歳、いたずら盛りで乱暴、仲間の江藤新平などと2メートル幅のどぶ川を跳び越える際、ぬかるんで居たため、右足すねを強打、どぶに落ち、傷が膿んで骨が露出するほどだった。麻酔がない時代で、激痛を伴うも結局、奇跡的に治った。大隈は36年後（明治22年）馬車に乗って外務省前にさしかかった時、投げられたダイナマイトで、奇しくも幼少時に大怪我をした時と同じ右足を損傷。当時の第一人者から切斷手術を外務省で受けるが、犯人を責めない「おおらかさ」、楽天性を見せる。

また、知識欲（Appetite）が生涯、旺盛で衰えない人で、大事を成し遂げる人に共通にある、良い友達、良い師匠との出会い、そして、育て甲斐のある後輩を持てるなど、「出会い」によって新境地を開き、「運」を生かしている。

蘭学を学んで居る時、大隈には大きな出会いがあった。小出千之助と久米条一郎という二人である。

小出は、大隈より6歳年上の秀才。この出会いで、オランダ語で「建国法」や「ナポレオン戦記」に接し理解する事となる。また、小出は、万延元年、日米通商条約に立会うため、アメリカに行き、世界を見ている。大隈はアメリカ帰りの生の話を聞き、世界への目が開かれ、国際語は蘭語ではなく、英語の時代の到来を予測、英語を学ぶこととなる。

一方、久米は1歳下で、当時、弘道館で一緒、楠公を慕い、国学を勉強していた。また、旧弊を破るとした義祭同盟の同じ一員で、非常にウマが合った。後に東大教授となるが、天皇に関する筆禍事件で退職する。大隈は早稲田大学に招く。義理を重んじるのである。

そして、江副美登との出会い。大隈26歳。美登21歳。文久2年に結婚し、同3年に長女熊子誕生。江副家は佐賀の有明海に面した鹿島にあって檜の師範の家である。美登の弟の江副廉造やその友達と気が合い出入りしていたのが、きっかけで知り合い結婚に至った。大隈の東京進出に伴い、美登は身をひいて離婚。性格が積極的な綾子と再婚する。綾子が熊子を育てた。大隈は周りの人をうまく育て、自分も助けられるが、廉造もその一人。現在のホテルオークラの地を所有していた時もあり、日本一のお金持ちだった。余談だが、江副の末裔が新宿に開いた語学学校が現在、高田馬場に移転していて「縁」を感じる。

蘭語、英語に通じた大隈は、佐賀、長崎を行き来しているうちに、グラバーなど、商人たちと知り合う。その情報をもとに、佐賀藩主・鍋島直正に、大阪などすでに開けて居る所ではない、神戸港を買うように薦める。これにより莫大な富を得ることとなる。大隈は商才に長けていて、「不可能を可能にする」人であることが判る。

オランダ生まれでアメリカ育ちの宣教師、フルベッキと知り合い、英語をじかに家庭教師同様に教わる。3代大統領トーマス・ジェファースンの独立宣言にある「All men are created equal.」＝人間の平等を習い、(福沢諭吉の「天は人の上に人を作らず。人の下に人を作らず」の基でもある。)さらに聖書を学んだ。幕府の作った英語学校とは違って、自分で自由に勉強が出来る英語学校を作った。フルベッキを校長とした「致遠館」である。この経験が後に、東京専門学校、そして早稲田大学につながった。

大隈は、最新の知識をもとに鉄道、銀行、太陽暦の採用等、明治時代におけるほとんどの新事業のレールを敷き、近代日本の実現に大きく後押しをした。幕末期、キリスト信徒の扱いで、的確迅速な処理をして外交の初陣を飾り、明治新政府の下、政治的にも頭角を現していくことになる。

(芦田均 記)

「講師略歴」

昭和22年福井市生まれ。昭和45年早稲田大学卒業。放送作家、雑誌記者を経て小説家となる。医学関係分野に造詣が深く、数多くの作品を発表している。平成10年「藪の中の家——芥川自死の謎を解く」で第17回新田次郎文学賞を受賞。近著に「風雲の人 小説 大隈重信 青春譜」(東洋経済新報社)等がある。

同好会だより

カラオケ同好会

世話人 芦田 均 TEL 393-7525
内藤 慎 393-5071



11月度例会は10日(土)、いつものとおり、久米川駅南口徒歩3～4分で行けるカラオケ「ズー」で、大勢?5名の精鋭が集まって19時過ぎに開始、各人5曲を熱唱した。12月のコンテストに向けて練習をしている人もいたため、「舌戦」?ありで、楽しいひと時を過ごした。参加者は下記のとおりです。

なお、12月度例会は優勝、準優勝及び三位までの商品及び参加賞があります。10名の参加を予定しております。奮って参加ください。参加費は1,000円です。

12月度は8日(土)19時10分から、新年度の1月は新年会(賀詞交換会)がありますので、同好会としては休みです。

・参加者(敬称略) 井垣・高部・滝川(正)・内藤・芦田

俳句同好会(稲酔会)

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第35回「稲酔会」忘年句会を12月15日(土)午後1時から、ふるさと歴史館研修室にて開催いたします。

句会終了後午後5時頃から、恒例の俳句談議を「丸藤」で行います。兼題含め5句を出句してください。

今回の兼題は「暮」です。この字を句の中に入れて俳句を作ります。季語は自分で入れてください。

「暮」と言う字の使用例を調べてみますと

[ぼ] ①夕方・・・薄暮、暮色、暮景、暮靄(夕暮れのもや)、暮夜、朝暮、暮天、暮雨。

②季節・年の終わり・・・暮春、暮秋、歳暮

[くれる] ①日が沈む・・・日が暮れる、暮れかかる、日暮れ、夕暮れ、冬の暮れ、寒暮、暮れなずむ、暮れゆく、暮れ残る、暮れ果てる、行き暮れる。

②季節や年が終わりになる・・・年の暮れ。

[くらす] ①生活する・・・暮らし、暮らし向き、その日暮らし、独り暮らし。

②一日中何々する・・・遊び暮らす、泣き暮らす、待ち暮らす

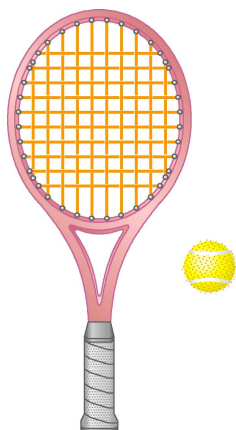
などの言葉が出てきます。この他にもまだ沢山あると思います。

今回から仲間が数名増える予定です。みなさんお気軽にご参加ください。

(稲雀記)

テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



11月の例会は4日(日)久米川コートで実施、参加者は井手、市川夫妻、田島、戸田、當間に當間の叔父が加わり7名、快晴、微風の絶好のテニス日和に恵まれ2時間はあっという間でした。

テニスは全身を使い短時間に体力を活性化させて、しかも手軽にできるスポーツ。

寒さに負けず、中高年パワーを発揮しましょう。

12月と新年1月は、下記の予定です。(12月は平日です。)

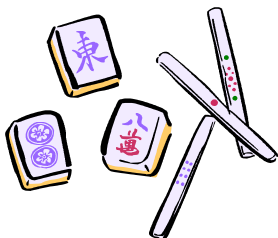
記

日時	12月11日(火)	午前 9時～午前11時
	1月 6日(日)	午前11時～午後 1時
場所	両日とも久米川コート3	

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

先にご案内の如く、平成19年第4回(41回)大会を下記要領にて開催致します。今回は同好会の忘年会も兼ねて、暫くお休みの雀士の方も、是非多数の皆様のご参加をお待ちします。



日 時： 12月16日(日)
集 合： 12時10分(時間厳守)
開 始： 12時30分
場 所： マーじゃんM TEL 397-5228
本町4-12 アメニティパレス B1F
会 費： 7,000円
締め切り： 12月13日(水)

雀卓、人数の都合上、是非お早めにご連絡ください。尚、参加締め切り後の申し込みは参加をご遠慮願う事もあります。(松永記)

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033

11月6日、恒例の秋蒔き苗の交換会を行いました。日頃のガーデニング活動の近況報告の後、各自が手塩にかけた苗の交換を行いました。来春の花盛りが楽しみです。

次回は1月下旬～2月上旬頃、さくら草、サギ草の交換会を行います。ご期待ください。

音楽同好会

世話人 高橋 文子 TEL 393-2676

11月の例会を11月25日(日)、午後2時から恩多ふれあいセンターで行いました。参加者は、江藤さん、岡田さん、小亀夫人、重原さん、三宅夫人、高橋夫妻の7人。先日の初ステージ(総会後の懇親会で)の感想等を語り合った後、前回から練習を始めた「東村山四季の歌」や「ペチカ」「冬の歌」を歌いました。

当日の目標は『「喜びの歌」をドイツ語で通して歌うこと』。重原さんがドイツ語にカタカナをふった楽譜を用意して下さい、江藤さんが持参された資料にも助けられ、無事最後まで歌うことができました!

次回は12月16日(日)、午後2時から恩多ふれあいセンターで、ささやかなクリスマス会を兼ねて行いたいと思います。年末の多忙な時期ではありますが、この機会にぜひ一度体験されてみてはいかがでしょうか。準備からお手伝いいただける方は1時にお越しください。

ゴルフ同好会

世話人 堀田 秀夫 090-8339-7179



@12月6日(木) ゴルフ同好会忘年会ゴルフコンペと忘年会

*西武園ゴルフ場 7時30分集合

参加ご希望の方は下記の堀田の携帯まで。なお、忘年会だけのご参加も大いに結構です。どなたでも飛び入り参加さらに歓迎です。

*忘年会 午後5時頃～7時頃

『養老の瀧』 今年度総会の会場一階

会費 3,000円程度

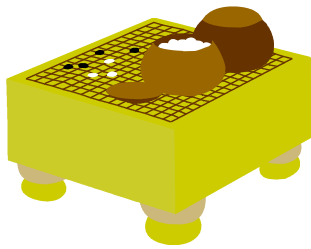
@第八回総長杯 校友会ゴルフコンペ及び忘年ゴルフ会の結果は次回新年号でご報告いたします。

@今年度ゴルフ同好会のまとめ

この1年ゴルフ同好会では、会員皆様健康第一、スコア二の次をモットーに、打てども打てども寄らず入らず、華麗(加齢)なゴルフで健闘してまいりました。いつまでもゴルフを楽しみたいから、日頃健康管理を怠らず、惨めな気持ちで病院へ行かず、苦い薬も飲まず、悠々自適。来年は新しい企画でゴルフを堪能したいと思っておりますので、決して決して上手下手など心配ご無用。多数のご参加をお待ち申し上げております。皆様には良いお年を、また、ご健勝を祈念いたします。

堀田 090-8339-7179

囲碁同好会



世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

○次の例会について、再度ご案内します。

12月22日(土) 12時30分

市民センター 別館第6会議室 にて開催

●例会にあたって、次の点に留意してください。

せっきくの練習日につき、対局は出来るだけ多くの方と対戦する。
やむなき場合も、同一の方との対局は2回までとする。

11月度「お誕生会」報告

担当幹事：南湖 修一 390-2287

芦田 均 393-7525

10日(土)19時20分頃、割烹料理「丸藤」で誕生該当者5名を含む19名でスタート。三宅会長からの11月にちなんで、また、當間(昭)副会長の乾杯の音頭にちなんでの誕生者へのお祝いの言葉をそれぞれ戴いた。誕生該当者のお話は概略次のとおりです。

栗島三郎様は20日で81歳。早慶戦を懐かしむ一方、昭和26年の授業料値上げ反対運動などを含め、昭和25年に入学、29年卒業の間のお話、最近「糖尿等ありで週一回運動を兼ねて？通院、マッサージで高田馬場に行っている。」東村山稲門会発足当初からの会員である佐藤守彦様。75歳。同期の大西元会長と久しぶりに話した際に「お誕生会」の話が出、こうして出席、現在、奥さんと二人住まい。「植木の手入れを楽しんでいる。」また、30日で71歳になる当稲門会・事務局長の小亀輝雄様は、早稲田界限が「遊び場」。空襲のため一時熱海に疎開したが、昭和30年に早稲田大学に入学。その後40年間、早稲田に勤務。心臓のバイパス手術や神経が時々痛むが、「稲門会においても仲良くして起承転結の「結」を迎えたい」と。中尾栄一様は現在、府中にお住いだけれども、参加。昭和32年理工卒。以前、ゴルフは参加している。「心臓が心配。でも、三桁は生きたい。」と、お元気。奥様と二人暮らし。趣味は盆栽など。そして、お父様が電気系のエンジニアで新潟へ転勤、新潟に友人の多い野村保夫様。昭和31年早稲田を卒業後、三省堂に入社、倒産の経験も。しかし10年後に更生した等、貴重な経験談を。奥様を亡くされて13回忌を済まされたとのこと。「料理、歩くことは好き。焼酎主体に酒をたしなむ。ボケ防止に囲碁を楽しんでいる。」

その間、赤荻幹事による記念撮影、記念品贈呈と進み、最後に當摩(彰)副会長の閉会の言葉及び東村山稲門会の歌、校歌斉唱で「流れ解散的に」閉会となった。

「訂正」10月度「お誕生会」報告中、奈切様は愛媛ではなく、長崎・五島列島のご出身の誤りでした。

俳 壇

菊田 一平
短日や膝をたためば膝の音

うやむやはうやむやのまま冬木立

幸田 瑞雄

次々と欠礼はがき年の暮

鷺一羽膨れて立てる寒き朝

高部 糸行

暮れ早し廃家らしきが立ち退きぬ

古い重ね板につきたる冬仕度

内藤 慎

蔵元の重き土産や新走り

木枯しやパンクを直す丸き背

丸本 北窓

天高し果てなく高し友の逝く

日蔭なる樹に溜まりたり散紅葉

八木 竜湖

山里の霧にうごめく朝六時

柿落葉緑混じりの錦織る

芦田 火吐四

赤白黄庭染め分けて菊日和

低き陽に銀杏紅葉の舞うベンチ

井垣 稻雀

新松子袴凜々しき五つの子

我が捨てて吹かれるままに落葉かな

大野 恵峰

屋根打ちて後のしじまや夕時雨

帆船の似合ふ港の小春かな

地元密着2年半を振り返って

當間昭治（S43法）

平成17年4月、37年間のサラリーマン生活に終止符を打ち、地元密着の生活がスタートして2年半が経過しました。

昭和20年4月2日、生後5時間で自宅に爆弾が投下され、一緒に寝ていた祖母は即死、私は爆風で飛ばされ襖の間に挟まれていたところ泣き声で地元の消防団に助けられ、正に奇跡的な生還となりました。（目や耳に異常はないか、その時防空壕に避難していた母は大変心配したそうです。幼い時私は「爆弾坊や」と呼ばれていました。）

60歳を機に「土に親しむ仕事」をと、念願の地元生活に入りました。地元とのかかわりは退職前の57歳、自治会からの誘いを受け「書記」をしてほしいというものでした。当時85歳の父からはサラリーマンを辞めてからと言われましたが、当時の自治会長から「退職前の助走期間が必要、時間ができてさあ活動しますといっても地元は受け付けられない」と言われ引き受け、今それが正しかった事をしみじみと感じています。

自治会では現在副会長、加入世帯650で月1回（17日）定例会を行い活動計画を決め実施しています。夕涼み会、運動会、美化デー、防災訓練、歳末助け合い等が主な行事ですが、最近のヒットと自負しているのが、コミュニティバス（久米川町循環ルート）のバス停を話し合い、それが反映されたこと、又資源物の集団回収を独自に月1回（毎月第4土曜日）実施、その収益を自治会に入金するという件です。地元小・中学校3校ともつながりを深め、毎月発行される「学校だより」は地域の方々にも回覧しています。警察・消防からの配布物も増え、安全・安心を地域で責任を持って分担してゆきたいという願いで、定例会では防犯・防災面でのコミュニケーションの場を設けています。

先日嬉しい体験をしました。自治会の掲示板に貼り紙をし、帰る道先で、小学生から元気良く挨拶をされたのです。その時は誰だかわからず帰宅後思いだしたら、2ヶ月前の夕涼み会・1ヶ月前の運動会で活躍してくれた子でした。その子は3人兄弟の長男、両親は30台前半で3年前に当地に転入しとても感じのいい家族だということを知りました。今後この様な若い層が自治会活動に参加してくれれば未来は明るいと感じた出来事でした。「自治会活動はボランティア」その域をどこまで広げられるか。今後の試練です。

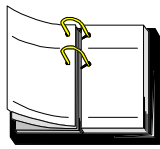
自治会に関連して消防後援会（7つある分団のうち第2分団）理事と久米川ふれあいセンターの運営役員、又地元農協支部の会計担当、それぞれ月1回程度の集まりがあり、関連して旅行・飲み会と仲間の輪が広がりました。

退職時に掲げた「土に親しむ」はいまだにその域を出ず、トラクターを買って本格的にという夢は、軽トラックを買うという段階でストップ、農協の仲間からはひやかされています。家庭環境の変化もあり、農作業に十分時間が取れないのも事実ですが、露地販売を通じて新しい知人も増え、商品は即日完売を実践しています。

19年4月、総務省から行政相談委員、8月、東村山市から社会教育委員を拝命しました。行政と教育何れも大きなテーマであり、この責任ある仕事がどこまで出来るか、今後の課題です。

私自身62年半の人生の中で、その時々が今の自分にとって「金の時か銀の時か銅の時か」と問いかけて生きてきたつもりです。サラリーマン生活を総括すれば、部分的には「金の時」もありましたが、全体を通せば「銀」、そして現在は「金の時」と自負しています。妻からは、サラリーマン時代より輝いていると言われたり、時々行事が重なって交通整理が必要という現状は「人生の充実期」に他ならない、そう感じている今日この頃です。





今月の予定（12月）

- 6日(木) ゴルフ同好会
- 8日(土) 12月度役員会
お誕生会
カラオケ同好会
- 11日(火) テニス同好会
- 15日(土) 俳句同好会
- 16日(日) 麻雀同好会
音楽同好会
- 22日(土) 囲碁同好会

1月上旬の予定

- 6日(日) テニス同好会
- 12日(土) 1月度役員会
雑学講座
新年会
お誕生会



編集局だより

編集局：小亀、中村

○柏崎稲門会への友情募金の報告

7月16日に発生した新潟県中越沖地震では、柏崎市でも大きな被害を受けました。東村山市は柏崎市と姉妹都市であることから、私たち東村山稲門会としてもなにか応援をしたいということから、11月17日の総会で募金箱をもって会員の皆様をお願いを致しました。その結果77,178円という多額な募金が集まりました。ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。早速この金額を柏崎稲門会で役立てて頂くよう会長の水野紀一様宛お送りさせて頂きました。今後も会員の皆様のご意見を聞きながら、柏崎稲門会との交流を深めていきたいと考えています。

その後11月23日に水野会長から三宅会長に募金に対する感謝のお電話があり、12月に行われる柏崎稲門会総会に報告し用途について検討したい、東村山稲門会の皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいとのことでありました。（事務局長 小亀輝雄）

さらに11月30日には水野会長から三宅会長宛下記の礼状を受け取りました。

東村山稲門会の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたびは、中越沖地震に際しまして、お見舞金をいただき、大変ありがとうございました。東村山の皆様のお気持ちに込め、震災からの復旧・復興に向けて有効に活用いたす所存です。

柏崎は地震から4ヵ月が経過し、少しずつ落ち着きを取り戻してまいりました。柏崎稲門会では7月に予定していた本年度総会が地震で中止となりましたが、先般の役員会で、12月に改めて開催することを決定し、会員に案内を出したところです。来年以降、ぜひ貴稲門会との交流も深めていければと考えております。

今後の、貴稲門会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝を願い、お礼とさせていただきます。

柏崎稲門会連絡先

〒945-0051 新潟県柏崎市東本町1-8-43
阿部 義章（幹事長）

○編集を担当してから1年が経ちました。これからも多くの方に寄稿をお願いしたいと思っています。まだ一度もご登場頂いていない方、次はあなたの番ですよ。目指すは全会員参加の稲門会ニュースです。
○次号の原稿締め切りは12月21日(金)です。よろしくお願いいたします。（中村）